

医療連携推進方針

1. 医療連携推進区域

岡山市、赤磐市、瀬戸内市、玉野市、備前市、美咲町、久米南町、和気町、吉備中央町

2. 参加法人

社会医療法人社団十全会
医療法人幸義会

心臓病センター榊原病院
岡山東部脳神経外科病院
岡山東部脳神経外科 東備クリニック

3. 理念・運営方針

(理念)

少子高齢化が急速に進む中、住み慣れた地域で安心して末永く暮らせることのできるよう、医療機関相互の業務連携を推進し、良質かつ適切な救急医療及び診療体制を充実させ、持続可能で安定的な医療サービスの提供の実現を目指します。

(運営方針)

- ① 参加医療機関間の連携を推進し循環器疾患をはじめ救急医療体制の充実を図り、横断的な診療体制を構築します。
- ② 参加医療機関相互の機能分担及び連携を推進し、質の高い医療を提供します。
- ③ 参加法人間の業務連携により効率的で持続可能な経営環境を実現します。
- ④ 参加法人の専門的な特色を活かし、職員相互の情報共有及び技術研鑽を行い、地域の医療水準の向上に寄与します。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

① 脳疾患と心疾患（循環器疾患）の救急医療体制の充実

脳疾患と心疾患（循環器疾患）の患者は動脈硬化を基礎と有しており、重篤な疾患を合併して発病することが少なからずあります。例えば、脳梗塞急性期のt-PA適応の判定に際して、胸部解離性大動脈瘤の除外診断は不可欠なのですが、発見されれば両科による共同治療が必要となりますし、心房細動発作に急性心不全を合併して重篤な脳梗塞を起こした際にも同様に両科の専門医による救急処置が必要となります。

それらの患者に対して、より適応力の高い病院に入院したうえで、一方の病院から専門医が速やかに応援できる体制を構築します。

② 連携強化により脳疾患と心疾患（循環器疾患）を横断的に診療できる体制の構築

ICTを活用して、電子カルテや遠隔画像診断、内線電話・電子メールシステムの相互利用体制を構築します。ICTを活用した情報共有を行うことによって、参加医療機関各々の患者は入院、外来を問わず、迅速に障壁なく専門的かつ高度な循環器診療、脳神経診療を利用することが可能となります。

③ 医療材料・薬品等の共同交渉・共同購入

具体的には、参加法人間でのスケールメリットを活かした医療材料。薬品等の共同交渉・共同購入を実行することにより参加法人の経営効率化を図ります。

④ 医療機器等の共同利用

血管造影装置、MRI、CT、超音波機器など高額医療機器の重複投資を抑制し、参加法人間で共同利用・適正配置することにより重複検査も避けることができる体制を構築します。

⑤ 委託業務の共同交渉

参加法人が個々に委託する管理業務等について見直し、検討を行い、スケールメリットを活かせる業務から順次、共同交渉を行っていく。

⑥ 医療従事者の派遣体制・人事交流・人材育成

参加法人間で医療従事者の確保が困難な事業所に対して、相互間で必要な人員を派遣する体制を構築することにより、地域住民に対して安定的で効率的なサービスの提供を維持します。共同での研修会や勉強会を開催し、良好な事業者間ネットワークを構築することにより連携を強化する。

⑦ 地域住民への情報提供・啓発活動の実施

参加法人間の連携の取り組み状況などホームページ、機関紙など様々な情報媒体を活用して、適時適切に地域住民、周辺の医療機関等へ積極的に情報提供する。

⑧ 診療所等の後継者の早期帰郷を図る手段として、参加法人の病院と診療所等の両方の医師として勤務できるシステムの構築

参加法人の連携により医師の人材確保を図ることにより、参加法人間で在籍型出向を基本とした交流を図る。

安定した医療体制の確保を図るため、診療所等の後継者の早期帰郷を図る手段として、参加法人の病院等と診療所等の両方で医師として勤務できるシステムを構築する。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

特になし